

種名	<h2 style="margin: 0;">セグロセキレイ</h2> <h3 style="margin: 0;"><u>Motacilla grandis</u></h3>												
													
分類	スズメ目セキレイ科												
特徴	濁った声で鳴く、黒と白のはっきりした模様のセキレイ類。日本特産種で、北海道から九州までに留鳥として普通に分布し、積雪地でも冬に留まるものが多い。												
生活	川や湖の岸に棲息するが、もっとも典型的な棲息環境は中流域の礫川原で、小川や溪流のキセキレイ、下流や海辺のハクセキレイと不明瞭ながら棲み分けている。水辺を活発に歩きながら地面や水面をついばんだり、空中に飛び上がって昆虫類を捕まえる。繁殖期はつがいで縄張りを持ち、枯れ草や隙間などもよく利用する。縄張り性は強く、他のセキレイ類同様、ミラーに写った自分の姿を攻撃する。												
声	繁殖期には「チッチュイ」と少し太めの声でさえずり、時には秋冬期にもさえずることがある。地鳴きは「ジジジ」と少し濁った声で、飛びながらも鳴く。なお「ツッチー」と鳴くこともあるという。												
見分け方	夏冬、雌雄同色で、背は常に黒く、黒い顔に白い眉斑がある。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長(L)21cm 翼開長(W)30cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													